

2019年10月30日
グローバル測位サービス株式会社

MADOCA 商用配信サービスに向けた資金調達の実施について

グローバル測位サービス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：小澤 秀司、以下「GPAS」という）は、2020年度から予定している MADOCA^{※1} 技術を活用した高精度測位補強情報の商用配信サービスに向けて、設備整備や人員体制強化のために必要となる資金調達を実施致しました。調達した資金は、6.14億円で既存株主からの追加出資及び株式会社日立ハイテクノロジーズからの新規出資となります。

近年、農業、建設業、防災などの分野において、高精度な位置情報が利用される機会が増加しており、その需要は海外・海洋を含めたグローバルエリアへと拡大しています。準天頂衛星システム（QZSS）「みちびき^{※2}」も、2018年11月1日より4機体制によるサービスが開始され、2023年度を目処に7機体制に拡張される予定であり、今後さらなる精度向上、アジア・オセアニアでの需要拡大に期待がもたれています。

GPASは、自動車、農機および建機の自動運転、海洋および気象観測等のグローバル展開を支える基盤として、MADOCA技術を活用した高精度測位補強サービスを実現することにより、世界中どこでも・いつでも高精度に測位できる環境を提供してまいります。

（※1） MADOCA: **M**ulti-GNSS **A**dvanced **D**emonstration tool for **O**rbit and **C**lock **A**nalysis

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）が開発を進める精密衛星軌道・クロック推定を行うソフトウェアであり、本ソフトウェアにより精密に推定した測位衛星の軌道・クロック推定結果等に基づき、高精度測位に必要な補正情報を生成。

（※2） みちびき

準天頂衛星システム QZSS（Quasi-Zenith Satellite System）。準天頂の衛星が主体となって構成されている、日本の衛星測位システム（衛星からの電波によって位置情報を計算するシステム）。

■GPAS の概要

会社名：グローバル測位サービス株式会社

本社：東京都千代田区内幸町 1-1-6

代表者：小澤 秀司

設立：2017年6月15日

株主：日立造船株式会社、株式会社日本政策投資銀行、株式会社デンソー、日立オートモティブシステムズ株式会社、日本無線株式会社、NECソリューションイノベータ株式会社、古野電気株式会社、豊田通商株式会社、マゼランシステムズジャパン株式会社、株式会社日立ハイテクノロジーズ

URL：<https://www.gpas.co.jp>

以上